



議員 石川和久 さんむ21



市長の政治姿勢について

問 この3年間、かじ取りをされてこられての、率直な感想を伺います。

答 市長 振り返りますと、3年前、多くの市民の皆様からの期待を背に市政を担い、現在まで市長として、さまざまな経験をさせていただきました。

主なものとして、まず、私が目指そうとする施策を盛り込んだ「第2次山武市総合計画」を策定し、これを基に、さまざまな政策に取り組んでいるところです。順調に進捗しているものもありますが、過渡期にあるものもあると感じています。

次に、災害対策として、津波避難施設（築山）の建設や避難道路の整備に取り組み、他自治体に先駆けて、東京電力や関係機関と協定を結び、災害時の応援態勢を構築しました。

そして、環境問題については、ブルーフラッグやゼロカーボンシティ宣言など、職員と一体となって取り組んできました。

基礎自治体の長として、市民の生命・財産を守ることが最大の責務であると考え、引き続き、全力を尽くしていきたいと思っています。

問 令和3年4月1日現在の市の人口と、過去5年間の人口推移について伺います。

答 市民部長 次表のとおりです。

市の人口推移【4月1日現在】

	総人口	うち 14歳以下	うち 15～64歳	うち 65歳以上	[参考] 外国人
平成29年	53,176	5,117	31,140	16,919	881
令和3年	50,052	4,379	27,819	17,854	1,293
増 減	-3,124	-738	-3,321	935	412



問 本市は、現在も人口減少に歯止めがかからない状況であります。市長公約の「人口減少対策」について、何を講じてきたのか伺います。

答 市長 移住定住ポータルサイ

トの開設、また、新規就農の促進のために、農地取得の下限面積についても、5000㎡から500㎡に引き下げました。また、企業誘致を進めるための企業立地促進条例を制定しました。3世代同居等支援事業、結婚に伴う経済的負担の軽減を図る結婚新生活支援など、数々の取組を行ってきました。

問 市長公約では8つの宣言がありますが、市長の政策の重点分野は何でしょうか。

答 市長 8つの項目は、いずれも様々な課題があり、そのどれもが、重要な政策であると考えます。そして、これらの重要政策を、しっかりと人口減少対策につなげたいという思いで取り組んできました。

問 子育て支援について、どのような見解をお持ちか伺います。

答 市長 結婚や妊娠、出産、育児、子育ての各段階において、切れ目のない支援が必要であると考えています。

今年4月からは、5つのことも園すべてにおいて、受入れ月齢を満10か月から満6か月に引き上げて保育を実施しており、保育ニーズの期待に応えるべく、さらなる充実を進めているところです。

問 市の将来像について伺います。

答 市長 市の将来像については、平成31年3月に策定した総合計画に掲

げたとおり、「海と緑、人が集い、住まう誇りがもてるまち 山武」です。そのために、環境を維持することや、市内外の方からも、山武市を訪れてみたい、住んでみたいと思われるように、まちづくりを進めていきたいと考えます。

今後の方向性について

問 残任期間、1年を切りましたが、市長公約で掲げた、成東中学校と成東中学校の統合について、どのような道筋をつけて、終えるのか伺います。

答 市長 今現在は、市の上位計画に即したまちづくりを考える中で、これから上がってきますマスタープランも含めて、しっかりと検討し、それを基に、皆さんに相談をしながら進めていきます。

問 残任期間にかける思いについて伺います。

答 市長 新型コロナウイルスワクチンの接種は、職員、そして医療関係者等の皆さんとともに、全力で対応しています。引き続き、しっかりと、そしてスピーディーに取り組んでいきたいと思っています。

そして、子育て支援のほか、教育の充実、また、防災、産業、観光の振興と福祉の充実などについて市民の暮らしに寄り添った市政運営を、誠心誠意、努めていく所存です。

個人質問